

桃紅とき
桃解き



企画展「生命をふきむしむ一筆——桃紅のリトグラフ」
[Release A]

左の3点の作品は、同じ版から作られたリトグラフです。太い2本と細い3本が重ねられた版の筆跡の上に、それぞれ異なる一筆が添えられています。

リトグラフという版画の技法は、今から200年以上前に従来の木版や銅版よりもっと簡単な方法で版をつくることはできないものかと考えられた結果、考案されたものと伝えられています。

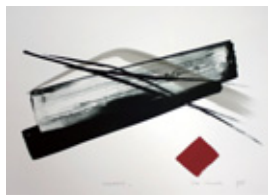
桃紅は刷りという行程に関して次のように言っています。

「刷るといふ一つのアクションを置くために、私というものが一度ちょっと伏せられて、刷った機械の持つものが出て来る必要があります。」

『美しく濃く 岐阜の芸術家たち』

一九九一年より

桃紅もこう言っているように、刷るといふ行程を踏む以上、どうしても作品は墨によるものより、硬い印象をいだかれることが多いようです。



それぞれ「Release A」70.0×90.0cm

桃紅のリトグラフは、自身の筆により描かれた版をもとに、鎌倉にある工房で木村希八の手によって印刷されます。この時、作品の画面はみな同じ表情をしています。しかし一度桃紅の手をはなれた作品は、ふたたび桃紅のアトリエに持ち込まれ、1点ごとに異なる一筆が加えられます。その最後の1筆によって、芽吹き始めた若草のようにそれぞれ生き生きと呼吸をし始めるのです。

本展では、リトグラフにみる桃紅の最後の1筆に注目し、近年のものを中心に作品を展示します。肉筆の異なる1筆による作品の趣の違いをお楽しみください。

臨時休館日のお知らせ

9月30日(火)～10月2日(木)まで
作品入れ替え作業のため休館します。

- ◆会期 10月3日(金)～12月28日(日)
- ◆入館料 高校生以上 300円
中学生以下 無料
- ◆休館日 月曜および祝日の翌日
- ◆開館時間 午前9時
～午後4時30分
- ◆照会先 篠田桃紅美術空間
☎23-7756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 52

男女共同参画社会

照会先 さんかくサポーター事務局
(企画政策課内) ☎ 23-6831

さんかくサポーターの豆知識 ⑥

「ワーク・ライフ・バランス
(仕事と生活の調和)」

少し古いCMで「24時間戦えますか? ビジネスマン、ビジネスマン」という栄養ドリンクの宣伝がありましたね。サラリーマン役の俳優が仕事にはりきる画像が思い出されます。

働いている皆さん、仕事中心の生活に悩んでいませんか? 男性も女性も、みんながいいきと活躍できる社会の実現のために、今、働き方の見直しが求められています。

あなたとあなたの大事な家族を幸せにするためにワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を始めましょう。

ワーク・ライフ・バランスの実現には、一人ひとりが従来の働き方を見直し、自らの工夫で職場全体の働き方や職場環境を変えていくことはもちろんですが、企業経営者にも、従業員への仕事と生活の両立を支援する責務があり、それが社会貢献につながると認識してもらうことが重要です。

人生のいろいろなステージで生活と仕事のバランスがとれれば、自分らしく生きたい人たちの充実感がうまく社会を循環し、企業や地域の活力アップにつながり、暮らしやすい豊かな社会づくりになることでしょう

<S>

このコーナーではさんかくサポーターが制度や用語をわかりやすく紹介します。